

令和2年第2回西春近地域協議会会議録

開催日	令和2年10月21日(水)										
開催時間	開会	午後6時30分			閉会	午後7時20分					
開催場所	西春近公民館 講堂(2階)										
委員の出欠 出席24名 欠席6名		委員氏名				委員氏名				委員氏名	
	1	三澤 一志	出	11	坪木 春夫	出	21	大蔵 巳夏	欠		
	2	飯島 尚幸	出	12	三澤 隆	出	22	松永 文恵	出		
	3	矢澤 静二	欠	13	飯塚 勉	出	23	城倉恵美子	出		
	4	本間 隆志	出	14	野溝 正明	出	24	安藤久美子	出		
	5	池上 博史	出	15	北原 信夫	出	25	松井 文孝	出		
	6	橋爪 忠男	出	16	竹松 忠義	欠	26	坂井 孝明	出		
	7	岡庭 節紀	出	17	北林 宏美	出	27	池上 正秋	出		
	8	唐木 孝雄	出	18	溝上 和紀	出	28	北原 永	出		
	9	宮下 哲雄	欠	19	酒井 卓実	欠	29	大前 廣司	出		
10	牧野 静雄	欠	20	廣瀬 幸雄	出	30	春日 洋一	出			
署名委員	岡庭 節紀			唐木 孝雄							
条例第10条の規定により出席した者	なし										
市側の出席者	生涯学習課長 北林 太 同課公民館係長 城倉 哲哉 都市整備課建築係 白井 淳一										
出席した事務局職員	西春近支所長 田中 稔										
協議事項	4 協議事項 1) 西春近支所・公民館の建設について 2) その他										
配布資料	次第、座席表 西春近公民館建設 図面										

■概要

(事務局より欠席委員の報告)

1 開 会 副会長が開会

2 あいさつ

(会長)

4月の会議以来、久しぶりの会議です。コロナでそれぞれの団体の事業を変更せざるを得ない状況になっているかと思えます。この協議会も、自治協も事業が滞っていますが、今回は西春近公民館・支所の設計の内容がまとまったので、説明のうえご意見を伺い、よりよい公民館にしていきたいと思えます。

2 会議録署名人の指定について

会長より、名簿順で 7番 岡庭節紀委員 と 8番 唐木孝雄委員 が指名される。

3 協議事項

1) 西春近支所・公民館の建設について(会長 進行)

説明：生涯学習課長(12分)

(生涯学習課長)(自身と市側出席者の紹介の後、あいさつ)建築に向けた設計が大方まとまりましたので説明させていただきます。

資料No.1 西春近地域交流センター(仮称)建設工事(西春近支所・公民館の建設工事)はJAとの合築で話が始まり、最終的にJA金融事務所のための設置との話を踏まえ、市が支所・公民館を建設、その一室をJA金融事務所とする形です。金融事務所内はJAで整備します。

1ページ左下の位置図で、建築場所は旧AコープとJA倉庫の跡地です。計画地を拡大したのが右の配置図で、敷地内の西側に建物本体、建物の東側と南側が駐車場です。線路側駐車場の北西の角に陶芸窯の小屋、東側に駐輪スペースを整備。駐車場は両方で35台分確保します。現在の建物は、取壊して第2駐車場に整備、約50台程度の駐車スペースを確保します。

資料左上、建物構造は鉄骨平屋建て、使用する木材に西春近産材などを利用して木の温かみを表現します。建物本体の延床面積は1195.5㎡。

(西箕輪公民館とほぼ同じ大きさ)部屋構成は後程、事業工程は、今年度実施設計を完了、令和3年度に本体工事を行います。現在の建物をその翌年度に解体して第2駐車場、倉庫を整備する予定です。

No.2建物本体の平面図です。図面の右側が東側(正面玄関側)で玄関を入った左が市役所、右がJA金融事務所です。図面左の講堂、プレイルーム、和室は、普段は別々の部屋ですが、講堂で発表会などの場合は、併用して使用できます。図面中央の上下に創作室と図書室を新設。図書室の隣に単独の学習スペース、裏口の玄関を設けました。図面の右上の料理実習

室は食に関連するイベントで、食事提供に対応できるよう研修室を料理実習室の隣に配置します。講堂と研修室はパーテーションにより広さを調整できます。今の建物の議場に当たる部屋が会議室で他の部屋と少し違う雰囲気のある部屋にします。談話コーナーは自由にくつろいだり、話をするスペースです。温かみを感じられる薪ストーブを設置します。

No.3が立面図です。左下が東側（正面玄関側）から見た立面図で一番左の窓から、団体事務室、市役所事務所、正面玄関、JA金融事務所、ATMの入口、通用口、一番右が料理実習室の窓です。左上が南側からで、一番左が和室、相談室、裏口の玄関、学習スペース、中央付近が図書室、市役所の事務室、団体事務室です。その右が西側からで、一番左が講堂の収納庫、大きな扉が講堂、プレイルーム、一番右が和室です。右下が北側からで、左から料理実習室、研修室2、研修室1、次の創作室ですが、陶芸窯に行けるよう通用口があり、会議室、一番右が講堂の収納庫という位置関係です。

今日、用意した資料は以上です。今後、JA金融事務所内を含めて、設計書として仕上げ、来年度予算に計上をしていく予定です。

来年度は工事開始となり、地区の皆様、特に近隣の皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。以上、簡単ですが資料を説明させていただきました。

質疑・応答（35分）

（会長） 西春近支所・公民館の建設についてご意見、ご要望などお願いします。

（委員） 新しい公民館と第2駐車場の間に距離があるので導線の夜間照明を、交通安全や防犯の面から配慮いただきたい。既存の公民館撤去後の駐車場の照明も検討をお願いしたい。提案を書面で用意しておりますので後ほどお渡しします。ご検討いただけたらと思います。

あと2点、防犯カメラの設置や街路照明を立てるとき、太陽光発電の利用をとの声もありました。よろしく願いいたします。

（生涯学習課長） ありがとうございます。ご意見をいただきました。即答はできませんが、持ち帰り検討したいと思えます。

（会長） 他にはいかがですか。

（委員） 屋根の素材は。

（建築係） 金属屋根で、フッ素ガルバリウム鋼板です。

（会長） 他にはいかがですか。よろしいですか。

談話コーナーへの「薪ストーブ」の設置について、建設推進委員会に伺いがあつたが結論が出せていません。皆さんの意見をお伺いしたい。

事務局より補足の説明をします。

（事務局） 設計当初の「ペレットストーブ」を「薪ストーブ」にしたいと市側からの提案がありました。

森林資源を活かし利用する循環型社会の構築を目指しているので「薪ストーブ」を導入したいということです。先行事例である西箕輪公民館と同様の運用が可能か、建設推進委員会に伺いがあった。

同様の運用とは、日々のメンテナンスは支所・公民館の職員が行い、薪の調達を地域の薪の会が担うものです。

メリットとデメリットがあり、日々の事は職員が行うので問題はないが、何より地域の皆さんの協力を得て行う薪の調達が課題と考えます。

(会長) 補足の説明もありました。ご意見を伺って進めたいと思います。

私も西箕輪公民館長と話をしてきました。建設当初からストーブを導入するため、薪の会を組織して30名ほどで活動しているようです。薪ストーブ利用者は薪を必要としているので、公民館の薪を確保した残りは貰えるようです。作業は年4回位。木材を伐採する山林は、個人山で地主から伐採協力が得られたところ、また、材木を出すため、林道から近い山林だそうです。

(委員) ストーブが建物の真ん中にあり、煙突はどのような形で外に出ていくのでしょうか。イメージが湧きません。

(建築係) 煙突は上に抜けていく形状になります。待合室に予定しているペレットストーブの場合は、煙突ではなく壁から排気する管がある形です。薪ストーブは真っすぐ上に抜ける煙突をイメージでいいと思います。

(委員) 薪ストーブにすると、真っすぐ上に煙突が立つということですか。

(建築係) そうです。

(委員) ペレットにすると燃料費がどれくらいかかりますか。燃やし方にもよるとは思いますが。

(公民館係長) しっかり調べてきていないので、すみません。

(会長) ペレットと灯油、かかる経費は、ほぼ同じくらいだと聞いています。ペレットはカロリーが少ないため、薪の方が暖かいようです。西箕輪では常はちよろちよろ燃えていて、暖房としての感じはないよう。入った所に図書室があって、奥に学習室があるが、冬はパーテーションを閉めて他の暖房を付けているそうです。

(委員) ペレットは1回入れてどれ位もつのか。薪はちよくちよく入れなければならない。その辺のことも知りたい。

(公民館係長) 調べてみます。

(委員) 防災の面から、もし災害があった場合、避難所になる可能性があります。災害時に伊那谷の地形は燃料等が途絶える可能性が非常に高い地域だと聞きました。薪ストーブであることは非常にメリットが大きいと思います。施設に避難する方は、一人暮らしの高齢者や小さなお子さんを持つお母さんなどで、そうした皆さんのためにも薪ストーブは非常時にメリットがあると思います。私は賛成です。

- (会長) ありがとうございます。薪を調達する方法としてお考えはありますか。
- (委員) 薪ストーブの事を良く知らないのですが、どの位必要かも想像がつかないのですが、運用であまり沢山いるのであれば、組織づくりは必要ではないでしょうか。
- (会長) 西箕輪も30人位で組織してやっていますが、チェーンソーや薪割り機の使い方の研修をしながら進めているようです。
- (委員) 特殊な技術を持った人材が必要なので、もう少し検討が必要かもしれません。
- (委員) 薪ストーブは、一般家庭でも2トン車の荷台2杯分くらい燃やします。薪をいかに確保するかは今後の関心事だと思います。やはりチェーンソーや薪割り機を使うので、それなりの人がやらないといけないし、チェーンソーは特に危険な道具なので、私たち財産区でも安全対策の服装も用意しております。どのように知識や経験のある方のグループをつくって、薪を確保していくかが一番の課題だと思います。今後どういう組織をつくるか考えて、せっかく山は近いし財産区有林もあるので、薪を用意できる形に持っていきたいと思いますが、その人員確保も問題です。
- (会長) 西春近財産区の土地は広いので木はあると思うが、搬出するための道がなければ人が行って作業ができない。山林所有者が自分の山の木を切っていると言っても、たどり着ける道がなければいけない。そうした検討もしなければならぬと思います。
- (委員) そう、やたら木を切るわけにはいきませんから。
- (会長) 薪を確保するには難しい問題もありますので、今後の方向性について事務局での考えがあったらお願いします。
- (事務局) 薪ストーブの可否は決めづらいと思います。今は図面で示されているだけで実感がなく、機運の醸成を図るのは難しいと思います。そこで市側の思いを受入れて、薪ストーブを導入し、実際に薪ストーブを目にし、触れてから薪の調達を検討したらどうでしょうか。
- 組織を創るには一定の時間を要するので、ストーブ利用開始に薪がなければ、初年度のみ薪を購入することを条件に、受入れてはと思います。
- 組織づくりは、財産区の区有林間伐事業や権現山林道開設で出る廃材を利用して、組織づくりを模索したらと考えます。
- (会長) 今、事務局より提案がありました。薪ストーブの導入を受入れ、組織を創りながら、ストーブを運用していく方向性でいかがでしょうか。
- (委員) 導入を受入れるとなると、薪をストックする場所も考えないと問題になると思います。
- (会長) 西箕輪は、建物のひさしの下にストックしていました。公民館長は、煙突掃除を頻繁にはしないと言っていたが、ストーブは一次・二次燃焼させ、排気するので煙突自体の掃除は頻繁にしないが、ストーブ内の掃除はする

必要がある。導入を前提としても、今からでは利用開始に薪は間に合わない。山を知る人、チェーンソーを使える人、色々な対応ができる専門性のある人達が入ってもらえば、組織づくりは進むと思う。自治協として宣伝し、人材を集める形になると思うが。

(委員) 上手く組織ができてそれが後々まで継承していくか、年寄りも増える中で若い人達が受け継いでもらえるか、そこまで含めて検討した方がいいと思います。当面の数年は組織に参画する人がいても、続かずに後々の若い人に負担を強いる形にしないような検討すべきだと思います。

(会長) 他にどうですかね。ご意見ありましたらお願いしたいと思います。

(委員) 最初は薪を購入する話がありました。そこで思ったのですが、薪販売をしている所に間伐材を提供して、加工、保管してもらい、手間賃を払って必要な分だけもらうことはできないか。

真ん中でちよろちよろ燃えればいい程度で、ストーブの規模は大きくないのでは。

(会長) (西箕輪のストーブの大きさのイメージを説明)

(委員) メインの暖房や給湯は電気で購入、ストーブの熱を使わないですね。

(公民館係長) 基本的にロビーは常に人のいる場所ではないため、薪ストーブだけで、空調は入らない予定です。ストーブの熱で暖かいのはストーブ前の談話コーナーと考えます。

(委員) 各部屋はエアコンなど暖房器具が設置されるということですか。

(公民館係長) 集中管理で設置する予定です。

(委員) そうすれば、薪自体をどれほど使うかは、やってみないとわからないが、薪をメインに全館を暖めないなら、木をあまり使わないので薪の調達もそんなに苦労はないと感じます。

(委員) 冬場は薪ストーブを毎日焚くわけですね。

(事務局) 貸館などがあり、館が開けば談話コーナーに人が入れるので、焚くことになると思います。

(委員) だれも居なくても焚いておくということですか。

(公民館係長) その時の館の利用状況です。状況を見ながら焚いたり、やめたりということはあります。伊那公民館の場合、ロビーや学習スペースに暖房はありませんが、石油ストーブを用意して人がいればスイッチを入れる運用をしています。薪ストーブは余熱もあり、夜消しても朝まで暖かいと西箕輪の主事が言っています。誰も居ない中、ずっと焚いておくことは想定していません。

(委員) 伊那西高校生は6時ころに学校から下ってくる。その時間の子達は公民館が閉まっているので、利用できないのでしょうか。

(事務局) いいえ。貸館や会議があれば5時過ぎでも開いています。閉館の時間は10時です。宿直者もいるので焚いておくことはできるし、消火の処理も

できます。

(会長) 先ほど事務局からの提案のように薪ストーブにして、組織をつくる考え方の意見の方が多いように感じますが、いかがですか。

(委員) いいと思います。

(会長) それでは組織づくりを、力を合わせてやっていく中で、薪ストーブを導入する方向でいきたいと思います。よろしく願いいたします。

その他、建設の件についてご意見等ありますか。

(委員) オイルタンク置き場があるが、オイルタンクは何に使うのですか。

(建築係) 主は、冬の暖房を想定しているFFのファンヒーター用です。

(委員) FFのファンヒーターということは灯油を使うということですか。

(建築係) 暖房のメインは灯油のファンヒーターです。

(委員) 今、電気代がすごく安いのでエアコンを使ったほうがいいのでは。そういう選択はしないのですか。

(建築係) 一般的な話、暖房を想定してエアコンを選ぶと容量が大きくなります。建設コストの関係もありますが、電気代が安くなっていると言いますが、熱量換算で比較すると灯油であり、総合的に判断したものです。

(委員) ランニングコストでは全然、電気代の方が安いと思う。設備の初期投資では若干劣るかもしれませんが。ランニングコストなら電気の方が安いんですね。

(建築係) エアコンだけでも可能です。他の公民館もこの方式ですが、個々の感覚ですが、冬場にエアコンの暖房をつけた時と、FFのストーブをつけた時、ではFFの方が暖まりも早いので、そうした面も含めて、この方式がメインになっています。FFを止める選択もできますが、エアコンのサイズが大きくなるというところです。

(委員) 当然、冷房は必要なのでエアコンは入れますよね。

(建築係) 冷房は入っています。

(委員) エアコンがあれば、それで暖房もできると思う。熱量計算やメリット・デメリットなど出して、どちらが得か考えていただきたい。私はエアコンの方が、メリットがあると思います。

(公民館係長) エアコンだけにする考えでいくと、FFは用意しなくていいということですか。

(委員) そうそう。補助的に使うというなら別ですけど。

(公民館係長) 伊那公民館もFFは入っていますが、エアコンだけだと冬の本当に寒い時季には「きつい」という声が聞かれます。FFがあると安心感があります。冬の時季にエアコンだけでは心配なので、FFは外せないと思います。

(委員) その辺のところ、検討していただいて。

(公民館係長) それでは、確認だけさせていただきます。

(会長) 他にどうですかね。

(委員) 災害時を考えると、沢渡は天竜川の氾濫があった時に心配です。平屋なので基礎を少し高くするお考えはありませんか。

(会長) 氾濫区域であり、もし氾濫して浸水すればここは利用できません。少しばかり高くしても、複層階でなければダメです。氾濫すれば、下の段の皆さんは上の段へ避難したほうが安全です。

(会長) その他にどうですか。

2) その他

その他に事務局より何かありますか。 特にありません。

全体的に何かあればお願いします。よろしいですか。

閉 会 副会長が開会

令和2年10月21日

第2回西春近地域協議会 会議録